

ひと

インパクト与える商品を

米国のデザイン賞で金賞を獲得
した中央住宅戸建分譲設計本部

山下隆史さん



内装デザインを手掛けた
埼玉県川越市の戸建て分譲
住宅地「フレイバスト上福
岡ライフコネクション」
(全14棟)のモデルハウス
が、米国・ニューヨークの
「MUSE Design
Awards (ミューズデ
ザインアワード)」金賞を

受賞した。公園や川堤など
の周辺環境からアウトドア
や遊びの要素を空間設計に
盛り込むと共に、インテ
リアに「海外っぽさ」を採
り入れたことが応募の動機
になった。

入社して18年、営業や実
施設計を経て、企画設計を

担い12年。街区
や外構などの設
計も手掛ける。
受賞物件では、
パンフレット作
成にも携わり、
モデルハウスの
撮影ではカメラ
マンを兼ね、娘

と一緒に自らモデルも務め
た。入社も「ゼロから作り
上げていく」場所を探した
結果だった。

賞の応募書類やそれに伴
うやり取りは、いわば「昔
取った杵柄」。米国の大学
院で街づくりを学んだ経験
が役立った。大学は経済学
部だったが、ゼミの指導教
授の研究テーマが首都移転
だったことや、留学生の友
人ができたことから、海外
進学が視野に入った。英語
が得意でもない上、現地は
インターナショナルな雰囲気
もない中、「ヤバイ」と思

現場の仕事でも挑戦を続
けてきた。子供が乳幼児
だった頃、子供が触れる床
を訴求し、当時「営業マン
泣かせ」と言われていた
無垢材の採用にこぎ着け
た。「インパクトを与えら
れるような商品をつくりた
い」。45歳。(小澤美菜子)

たらなんとかなった」と笑
う。海外生活では、住宅街
の整えられた街並みが印象
に残り、住宅開発への志望
につながった。

注文住宅で先行して応募
していた社員に触発され、
海外の賞に挑戦するよう
になった。昨年は建築デザイ
ンで別のデザイン賞を受賞
した。「常にアピールは必
要。継続することに価値が
ある」。現在は、ドイツの
賞にも応募している。